

平成29年度
優良取組賞

株式会社山形屋ストア

会社概要

株式会社山形屋ストアは、昭和44年4月に設立し、スーパーマーケットとして、県内において15店舗を展開し、従業員数は約1,000人である。

削減実績

二酸化炭素排出量削減率9.4%達成（平成25年度比）

※電力排出係数の変動の影響を考慮し、電力排出係数を基準年度（平成25年度）に固定して実績排出量を算定し、計画期間（平成26年度～平成28年度）の平均排出量を評価した。

実施した対策

全従業員による削減活動の実施

環境に関する国際規格ISO14001を取得し、環境保全に向けた目的・目標を設定し、全社員で環境保全活動に取り組んでいる。また、グループ全体で代表者によるISO会議を毎月行っており、その会議の中で、削減取組についても議論し、その内容は、各店舗で毎月行われている環境朝礼で社員に周知し、各店舗における取組に反映している。

照明更新等による省エネ

照明設備については、店内は全てLED照明に更新済みであり、冷蔵・冷凍ショーケースの一部は、順次更新予定である。バックヤードの一部は、LED照明に更新し、トイレや通路に人感センサーを取り付け、消し忘れが無いようにしている。また、事務室等については、照明一つ一つに点消灯用の紐が付けられ、必要な箇所だけ点灯するようになっており、更にその紐の先に節電の札を取り付け、消し忘れが無いような体制とし、こまめな節電に取り組んでいる。

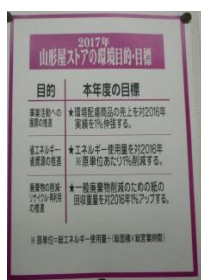
設備運用による省エネ

11店舗において、デマンド監視装置を設置し、照明、冷蔵・冷凍装置、空調の最大電力抑制と使っている電気使用量を見える化することにより電気使用量削減を行っている。今後、年に1～2店舗ずつ改装を予定しており、改装の際には、省エネ設備の導入を積極的に行っていくことにより、全店舗において電気使用量削減に繋げていく方針としている。

空調設備のスイッチの細分化により、必要な箇所のみでの運転を実施し、冬場は、店内入口以外は、基本的に電源オフ、店内入口レジ近くは、お客様の出入りによる外気の入り込みがあるため、その部分のみ空調を稼働している。また、スイッチ周りの壁には、それぞれ節電や夏場28度、冬場20度などの注意喚起の掲示をしている。

オープン型の冷凍ショーケースは、冷気が逃げにくいような構造になっているが、更に天井よりファンを回すことで、冷気が逃げないような工夫や、事務所入口等は、ビニールカーテンをすることで、室内の空気が逃げないように、また、外気の入り込みを少なくするようにする他、夏場日差しが強い時期など、よしずを設置し、室内温度の上昇を抑える取組を行っている。

今後は、設備更新時には高効率設備を導入し、全社員で環境保全活動に取り組んでいく予定である。



省エネ活動



デマンド監視装置



LED化・省エネ設備(ファン)